



公立大学法人

福島県立医科大学附属病院

# 性差医療センターだより



第 2 号 (2009年5月26日)

## 「性差」って…

こんにちは。今回はひとの「性差（男性と女性の違い）」について考えてみたいと思います。少し医学的なお話を書きますが、「フーン」という感じで読んでいただければ幸いです。

皆さんは「男性」と「女性」のすれ違い、感覚のすれなど感じられたことはありますか？私自身はそのように感じる多くの場面に遭遇します。

では、もともと「性」は何で決定されるのでしょうか？まず、「性」には「生物学的性（セックス）」と「社会的性（ジェンダー）」があります。「社会的性（ジェンダー）」は文化的背景を含み複雑なため、今回は「生物学的性（セックス）」を中心に述べたいと思います。ひとの「性」が決定されるのはご存知のとおり染色体です。女性はXX、男性はXYとなるわけですから、その差というのはY染色体です。もともと初期の胎児のなかにはミューラー管とウオルフ管というどちらにも分化できるような性管とよばれるものがあります。Y染色体のなかに「性決定遺伝子」が存在し、その遺伝子により精巣が形成され、精巣から男性ホルモンやミューラー管抑制因子という物質が分泌されます。これらの物質で男性はウオルフ管から女性はミューラー管から内性器の分化がおこります。

その過程で、男性ホルモンは胎児の脳に影響を与えている可能性が示されており、これを「アンドロゲン（男性ホルモン）シャワー」といいます。この男性ホルモンの曝露により胎児の脳は「雄化」し、男性特有の思考や行動をとることが言われてきました。たとえば、誰が教えるのでもなく、男の子は車や怪獣や飛行機などにひかれ、

女の子はお人形やぬいぐるみなどに興味をもつのは万国一致するものであり、このようなホルモンの影響が示唆されています（ただし、研究者は上記のホルモン説はひと以外では明確化されていませんが、ひとの場合はこれだけでは説明ができません）。また、成人の脳に関しても、面白い性差が発見され、たとえば言語能力は女性が高く、これは、特殊なMRIなどをみると女性において男性よりも脳の広い範囲で言語情報処理などの機能がおこなわれていることがわかってきました。また、左脳は論理と言語、右脳は感情をつかさどるといわれていますが、その左右の大脳半球を結ぶ神経は女性で男性よりも10-12%太く、大脳半球の働きの偏りは女性が男性より小さいそうです。従って、女性は男性に比較しうまく感情的なことを言葉で表現できるのかもしれない。

脳の構造ひとつひとつが、このように解明されてくると、お互いの認識・行動が理解でき、男女間でのすれ違いも少なくなるような気がします。すなわち、パートナー、職場、親子関係でトラブルが生じたとき、これは「個人」そのものではなく、「性差」によるものであると思えば、理解が納得いくこともあるのではないのでしょうか。

脳の構造はひとつの例ですが、男性と女性では生殖器以外にも性差があります。今後「社会的性（ジェンダー）」も含め、これらを明らかにしていくことにより、「性差医学」は男女における「心と体の健康」さらに「医療」に貢献することが期待されます。

文責：性差医療センター部長 小宮ひろみ

## アドバイス

眠れない夜はありませんか？

ぐっすり眠るために、生活面での工夫をしてみましょう。

夜はぬるめのお風呂に入り、毎日同じ時刻に起床します。

また、眠りやすい環境を作るために音や部屋の温度や明るさを調整します。

さらに、脳をリラックスさせるための香りや軽い読書。体をリラックスさせるためのストレッチも効果的です。

熱い風呂に入る・カフェインを含む飲み物・パソコン・喫煙等は床に就く前は避けて下さい。

文責：性差医療センター 看護師 日下部ひとみ



- \*なぜかわからないけれど、体の調子が良くない。
- \*気になる症状があるけれど、どの科を受診したらいいかわからない。
- \*女性特有の症状でちょっと男性の医師には恥ずかしくて相談できない。などの悩みを解消しませんか。お気軽にご相談ください。

性差医療センター予約専用電話 024-547-1407

月・水・金 午前9時～正午、午後1時～4時

# 性差医療センターからのお知らせ

性差医療センターでは、女性特有の悩みや疑問に無料でお答えしています。

金曜日の午後、月経痛や食事管理などをテーマに行っていますので、どうぞお気軽にお申し込みください。

## ◇テーマ

6月12日（金） 月経痛について

性差医療センター部長 産婦人科 小宮ひろみ

19日（金） やせと肥満の食事管理 『適正な体重を維持するために』

医事課栄養管理係長 管理栄養士 真田久美子

26日（金） 漢方相談

性差医療センター部長 産婦人科 小宮ひろみ

7月 3日（金） 冷えを予防する生活習慣 『毎日の生活を見直してみよう』

性差医療センター 看護師 日下部ひとみ

◇場 所 性差医療センター 相談室

◇時 間 14:00～15:00

◇定 員 3名

予約制になっておりますので、ご希望の方は性差医療センターへお申し込みください。

今後の日程については、改めてご案内いたします。

◇申込先 性差医療センター

電話 024-547-1407

